



授業実践報告

「傍線部をつかって解説」



辻崎 千尋 教諭 2年9組 「現代文」

現代文の問題では、文章に傍線部が引いてあり、その個所に関する設問があるのが一般的です。しかし今回の授業では、よくわからない箇所を傍線部として生徒自身が決め、その個所の解説をグループで考えるという手法をとっています。グループごとに板書させ、また作業の進行状況をマグネットの色の表示で識別できるように工夫することで、教師の個別指導の対応がスムーズに行われていました。

武高授業改善PT（武高 Active）のPT 会議では、メンバーによる授業実践報告を積極的に行っています。さらにメンバー以外の先生方の、工夫を凝らした特徴ある授業を撮影して紹介し、共有することで、授業力向上につなげようという取り組みも行っています。

「コミュ英でICT活用」



磯野和之 教諭 1年6組 「コミュ英I」

コミュ英 I の授業でパワーポイントを積極的に取り入れています。教材作成のための時間はかなりかかっているようですが、作成した教材を複数のクラスで使えることを考えると、それほど大きな負担ではないそうです。パワーポイントの画像を直接黒板に映し出すことで、その上からチョークで説明を加えることもできて便利です。単語の発音の練習でも、アクセントなどを意識的に色分けするなど、様々な工夫が見られました。

第1回PT会議より



第1回PT 会議には、メンバー以外に谷口典先生にも参加していただきました。谷口先生からは冒頭で、若い頃の教材研究がその後の教員生活の大きな力になったこと、たくさんの仕事があるが授業を一番大切にすべきこと、などの話しをしていただきました。

第1回PT 会議では、「生徒に身につけたい力は？」というテーマで研修を行いました。「表現する力」「コミュニケーション能力」「自立する力」など、KJ法によってまとめられやこれらの力を、いかに授業の中で養っていくかが課題であることを、PT メンバーは確認しました。



4月24日(月)の職員会議では、貴重な5分をいただき、以上の内容を先生方に発信させていただきました。たくさんの先生方からのご意見をお待ちしております。次回、PT会議(5/19)にも是非遊びに来てください。

ひとりごと 自分の授業のかたちが固まったような気がしたのは、30代後半の頃でしょうか。でも、今回のPT会議で紹介されたいくつかの授業実践報告をきいていると、自分の授業をあらためて見つめ直す必要があるかも、と感じてしまいました。とはいえ、ICT機器には抵抗があるし、グループディスカッションのノウハウもよくわからないし...。もう少し勉強させてもらうことにします。